

設計図書に関する質問書兼回答書

入札番号	5081000030
工事名	高速鉄道烏丸線国際会館駅他 10 駅可動式ホーム柵設置工事
工事場所	京都市左京区岩倉大鷲町他
入札期間	令和8年8月14日、17日、18日

NO.	該当箇所（図面番号・仕様書番号等）	質問事項	回答（交通局記入欄）
1	特記仕様書 7 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 7 頁【第 2 章 製作機器】【2-1 ホーム柵主要諸元表】【No.3 主要寸法 戸袋部 高さ】記載寸法の「1300mm」は、「1325mm」でも宜しいでしょうか。また、駅係員操作盤搭載戸袋は、「1380mm」でも宜しいでしょうか？	特記仕様書の通り、戸袋部の高さは、状態表示灯を除き「1300mm」です。駅係員操作盤搭載の戸袋についても同様です。
2	特記仕様書 7 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 7 頁【第 2 章 製作機器】【2-1 ホーム柵主要諸元表】【No.3 主要寸法 ドア部 下部隙間】記載寸法の「床面からドア下部までの高さ110mm以下」は、「床面からドア下部までの高さ167mm以下」でも宜しいでしょうか。	特記仕様書の通り、ドア部 下部隙間は、「床面からドア下部までの高さ110mm以下」です。
3	特記仕様書 9 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 9 頁【第 2 章 製作機器】【2-1 ホーム柵主要諸元表】【No.9 安全装置（安全対策） 非常開ボタン】記載の「開口ごとに設置（ボタン押下でホーム柵は全開動作後停止）」は、「開口ごとに設置（ボタン押下でドアフリー（※））」でも宜しいでしょうか。 ※全開動作はしない。	特記仕様書の通り、非常開ボタンの仕様は、「開口ごとに設置（ボタン押下でホーム柵は全開動作後停止）」です。
4	特記仕様書 18 頁【第 4 章 個別仕様】	特記仕様書 18 頁【第 4 章 個別仕様】【4-1 遠隔監視設備】【（1）遠隔監視設備その 1（既設）】は他社製の為、ソフトおよびハード共に対応可否の判断が出来ない状況であり、仮に弊社を選定頂いた場合は、弊社監視PCシステム標準仕様をご採用頂き、既設設備との接続が必要な場合は、インターフェイス含め必要な情報は全て開示頂けることで宜しいでしょうか。	遠隔監視設備その1について、既設システムに11駅分を追加増設していただくことになります。 したがって、図面番号M-114「遠隔監視（1）配線系統図」に記載の既設メーカーへ問い合わせして下さい。
5	特記仕様書 19 頁【第 4 章 個別仕様】	特記仕様書 19 頁【第 4 章 個別仕様】【4-1 遠隔監視設備】【（2）遠隔監視設備その 2（新設）】【シ. 監視盤設定】【ス. 監視盤設定管理】【セ. PC調整値設定】【ソ. PC調整値設定ファイルを、フォルダを作成し、管理する。】【タ. 監視サーバのPC調整値設定ファイルを、フォルダを作成し管理する。】は、弊社監視PCシステムには搭載していない機能の為、無しでも宜しいでしょうか。	ご質問いただいている機能は全て必要な機能です。
6	全般	駆動モータは、DCブラシレスモータでも宜しいでしょうか。	駆動モータは、「DCブラシレスモータ」でも問題ありません。

7	特記仕様書 1 頁【第 1 章 総則】	「乗務員が乗務員操作盤の開閉スイッチ（テープスイッチ方式相当）によりホーム柵の開閉を行う」と記載されていますが、ここでいう「テープスイッチ方式相当」とは具体的にどのような基準や条件を満たすものを指すのでしょうか。また、「テープスイッチ方式相当」であれば、必ずしもテープスイッチである必要はなく、他の方式でも問題ないかご教示いただけますでしょうか。	P9「11.監視・制御装置」「乗務員操作盤」に記載している「約1060mm有効範囲」を実現できる方式です。また、特記仕様書 P1「1-5 指針」に記載していますが、前提として既設駅と同じ機能が必要です。
8	特記仕様書 1 頁【第 1 章 総則】	特記仕様書 1 頁【第 1 章 総則】【1-5 指針】「前提として既設駅（北大路、烏丸御池、四条、京都）と同じ機能を有しなければならない。」と記載がありますが、「設計図書等-（4／4）.pdf」の参考図通りに機器/銘板類を同じ位置に配置する必要がありますでしょうか。	基本的な配置は、図面通りに配置する必要があります。
9	特記仕様書 4 頁【第 1 章 総則】	特記仕様書 4 頁【第 1 章 総則】【1-11 その他】【（2）出荷前の工場検査について】「受注者は、自らの試験設備（工場、試験場等）において、製作した機器の各種品質試験、動作試験等を行い、試験報告書を提出すること。」と記載がありますが、具体的な試験項目のご要求がございましたでしょうか。また、それらの試験は全番線必要になりますでしょうか。	試験項目は、契約後に協議させていただきます。試験の実施は、全番線必要です。
10	特記仕様書 4 頁【第 1 章 総則】	特記仕様書 4 頁【第 1 章 総則】【1-11 その他】【（2）出荷前の工場検査について】「出荷前に監督員が試験設備にて検査を行う場合は対応すること。」と記載がありますが、弊社工場での監督員による検査は、全数行うことになりますか。回数は決まっていますか。	出荷前の工場検査は、契約後に協議させていただきます。
11	特記仕様書 9 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 9 頁【第 2 章 製作機器】【2-1 ホーム柵主要諸元表】【No.9 安全装置（安全対策）】記載の「ホーム柵の正面パネルは帯電防止塗装を実施」ということはホーム柵の正面パネル絶縁塗装ではなくても宜しいでしょうか。	ホーム柵の正面パネルは、絶縁塗装ではなく帯電防止塗装です。
12	特記仕様書 9 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 9 頁【第 2 章 製作機器】【2-1 ホーム柵主要諸元表】【No.11 監視・制御装置】記載の「UPS」はノートパソコンでも必要になりますでしょうか。	駅務室監視盤の外形図はM-93であり、UPSは盤内へ設置する必要があります。
13	特記仕様書 11 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 11 頁【第 2 章 製作機器】【2-2 ホーム柵システム概要】【（3）列車の誤出発防止について】記載の「ホーム柵「開」状態で列車が出発し、在線検知センサ不感知になった場合、未操作出発と判断しブザー及び音声案内（自動的にホーム柵を閉める旨）を流した後に閉鎖させる機能を有すること。」は必須の要件でしょうか。除外可能かご確認をお願いいたします。	必須の要件です。
14	特記仕様書 13 頁【第 2 章 製作機器】	特記仕様書 13 頁【第 2 章 製作機器】【2-2 ホーム柵システム概要】【（16）総合制御盤ダウン（故障）】記載の「総合制御盤のPLC や基板等の故障時において、停電時を除き乗務員操作盤と駅係員操作盤の開又は閉ボタンの押下により該当番線のホーム柵全体の開閉操作が可能なシステムとすること。」は必須の要件でしょうか。除外可能かご確認をお願いいたします。	必須の要件です。
15	特記仕様書 16 頁【第 3 章 現場作業】	特記仕様書 16 頁【第 3 章 現場作業】【3-1 共通事項】【（10）石綿の取扱いは、以下のとおりとする。】PCB（ポリ塩化ビフェニル）も石綿（アスベスト）と同じ取扱いになりますでしょうか。	PCBは、石綿と取扱いは異なりますが、本工事では機器の撤去がないため、PCBの該当はありません。
16	特記仕様書 19 頁【第 4 章 個別仕様】	特記仕様書 19 頁【第 4 章 個別仕様】【4-2 折り返し駅について】「国際会館駅、北山駅、竹田駅については、列車折り返し運用に必要な制御機能や定位置停止に関する特別な要件を設けるものとする。」と記載がありますが、必要な機器とその数量、及び具体的な機能をご指示いただけますでしょうか。	具体的な機能は、契約後に協議させていただきます。
17	一般競争入札参加資格確認申請書	本工事につきましては、工事金額の規模から監理技術者の専任配置が必要であると認識しております。そのうえで、監理技術者補佐（1級技術検定第1次検定合格者（技士補））や主任技術者についても、専任配置のご要求がありますか。	監理技術者を専任配置した場合、監理技術者補佐を専任で配置する必要はありません。
18	全般	駅内等で他工事との作業調整が必要な場合がありますでしょうか。調整が発生する場合、調整の窓口や調整会議の有無、受注者側で対応すべき事項がございましたら、併せてご教示いただけますと幸いです。	本工事の監理業務を委託しますので、他工事との作業調整の窓口は、監理業務委託の受注者になります。調整会議は、必要になる場合もあります。
19	全般	現地工事における夜間工事の着手前に発注者様その他とミーティングを実施する必要がありますか。	現地夜間工事当日について作業開始前には監督員とミーティング等で当日の作業内容の共有や別途輻輳作業の有無等（軌道のモーターカー含む）安全確認する必要があります。
20	全般	各駅に配置する現場代理人の条件（資格・経験等）のご要求がありますか。	資格・経験等の要求はありません。

21	全般	工事期間中に200Vコンセントを使用したいと考えております。つきましては、工事用電力として200Vコンセントの使用が可能かご教示いただけますでしょうか。	使用可能です。
22	全般	夜間作業において、モーターカーや試験列車等の走行に対する安全対策として、受注者側で各駅に列車監視員の配置が必要となりますか。	必要ありません。
23	全般	大物資材など駅からの搬入が困難な場合には、車両基地からモーターカー（発注者様による運転）等により運搬していただくことは可能でしょうか。また、対応が可能な場合は、運搬に係る手続きや条件・制約事項等につきましても併せてご教示いただけますと幸いです。	運搬は可能です。 運搬の2か月以上前に運搬希望日、運搬場所、運搬物の大きさについて当局保線区との打合せが必要です。 当局でも積荷の状況は確認しますが、積込は工事受注者で、荷崩れしないようお願いいたします。運転手の視界を確保するよう、積込に配慮が必要です。 最大の運搬台車積込面の大きさ 幅2,400mm 長さ4,300mm 床高レールレベル～985mmです。 モーターカーの車庫出発時刻は、24時30分、車庫帰着時刻は、遅くとも翌4時になります。
24	全般	地上駅である竹田駅において、夜間工事でアンカー削孔や打設作業等の作業を実施する場合、騒音対策や近隣住民への事前周知・連絡は必要でしょうか。	必要です。
25	全般	工事期間中における発注者様との定例会議について確認させていただきます。仕様打合せや工事進捗状況の説明等を目的とした定例会議は、どの程度の頻度（週次、月次等）で実施される予定でしょうか。また、本会議以外にも会議の開催する予定があれば、併せてご教示いただけますと幸いです。	定例会議の頻度は契約後に協議させていただきます。
26	特記仕様書 第1章 総則 1-11 その他	（9）予備品 また納品にあたり、格納可能な鍵付きの棚を準備すること。 ⇒上記の記載につきまして、鍵付きの棚に収納するものは、盤内各部品、UPS、可動式ホーム柵監視盤PC 1式でよろしいでしょうか。	各予備品において格納可能な鍵付きの棚が必要です。詳細は、契約後に協議させていただきます。
27	特記仕様書 第2章 製作機器 2-1ホーム柵主要諸元表	戸袋部の外板に関して、戸袋上部の笠木部分（トップカバー）につきましては、アルミニウム材に陽極酸化塗装複合被膜（アルマイト＋クリア塗装）仕上げ、色は白色（原色）としても問題ございませんでしょうか。	材料と塗装方法は、問題ありません。 ただし塗装色は、戸袋部と同様のN8.7白色系です。
28	特記仕様書 第4章 個別仕様 4-2 折り返し駅について	要件の詳細が確定していないため、乗務員操作盤に折り返しボタン等を設置し、ボタン押下により進行方向を切り替えてホーム柵のシステムを制御する機能を見込みますが問題ございませんでしょうか。	質問No. 16の回答と同様です。